

【説明】

管内授業改善の重点と今後の取組の方向性について

令和4年5月9日（月）@オンライン
大分県教育庁佐伯教育事務所
指導主事 後藤竜太
0972-22-3011, gotou-ryuuta@oen.ed.jp

1

本日の内容

- (1) 研究主任のみなさまへのお願い
- (2) 管内授業改善の重点

2

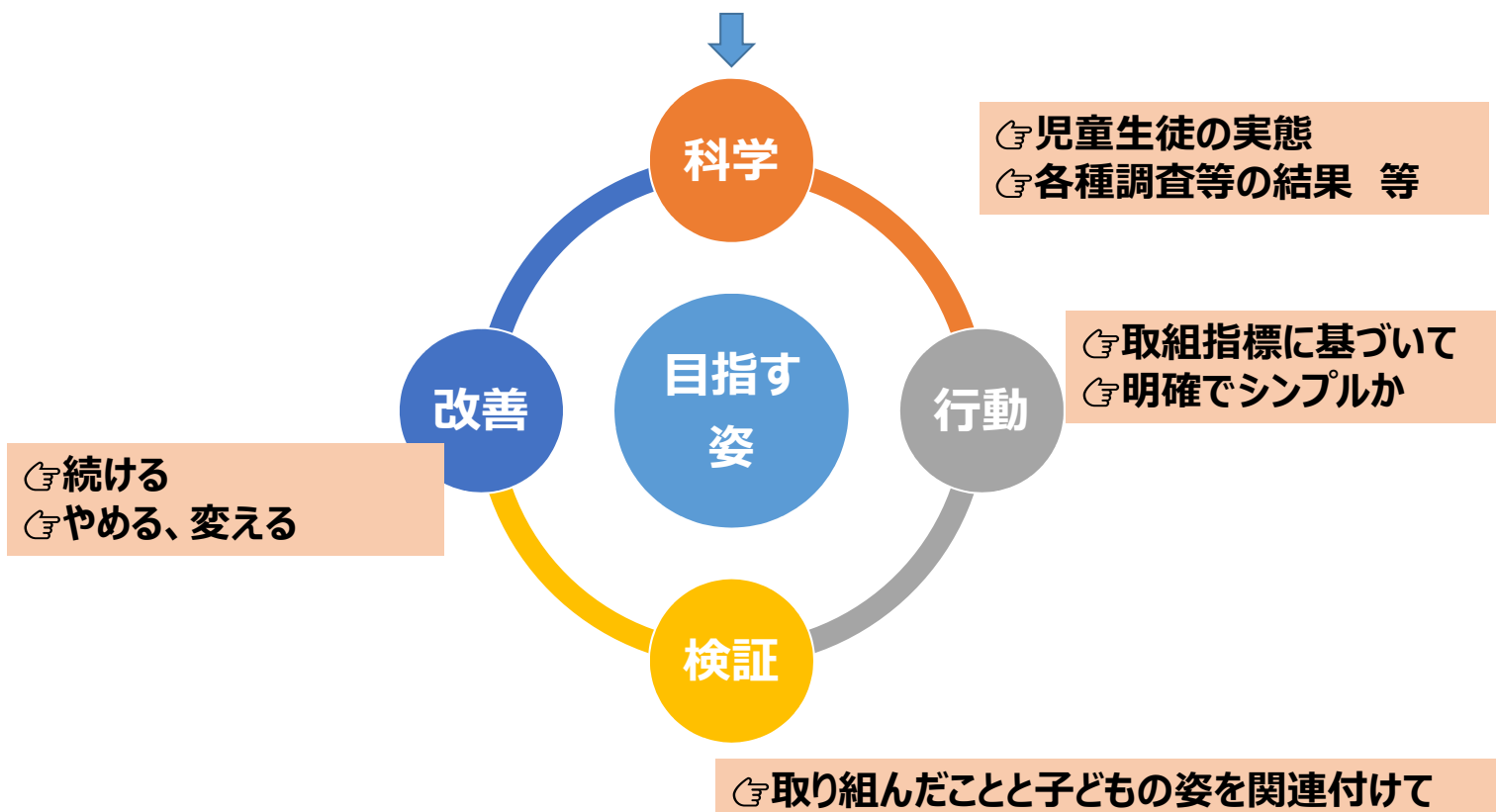
(1) 3Kから4Kへ

(2) シンプル・徹底

(3) 行う、見合う、語る

3

3K (勘) (気合) (感覚)



【別紙様式2】 ○○市立○○小学校 学力向上プラン2 (2月)

学校教育 目標	
育成を目指す 資質・能力	

児童 生徒の 課題	学力状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題	学力状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題
指導 の 状況	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)	
	1 組織的な授業改善の取組状況	
	2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況	

学力に関する達成指標

目指す姿

【授業改善】 (授業改善のテーマ・重点) (授業改善の重点)	【家庭・地域との協働】
(取組内容)	(家庭・地域の取組内容)
(取組指標)	(家庭・地域の取組指標)
行動	
(検証指標)	(家庭・地域の検証指標)

【授業改善以外の学力向上の取組】

目標と取組を連動させる

評価対象期間 令和4年4月1日～令和4年9月30日

番号	期	の	目	標
			○目標項目(何を)	
			○達成された姿(どのレベルまで):中間	
①			○達成された姿(どのレベルまで):期末	
			○具体的な取組(いつ、どのようにして)	

5

行う

自ら授業を実践し、参観してもらう機会

- ・意図的な工夫を施した授業実践、互見授業・・・など

見合う

多くの優れた授業実践を参観する機会

- ・市内外の公開研究会への参加、授業記録の書き起こし・・・など

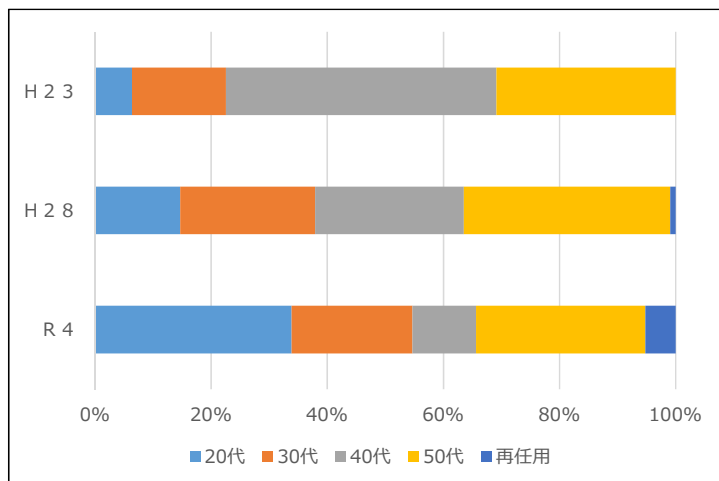
語る

日々の授業実践について語り合う機会

- ・子どもの姿、教師の手立て、学習評価・・・など

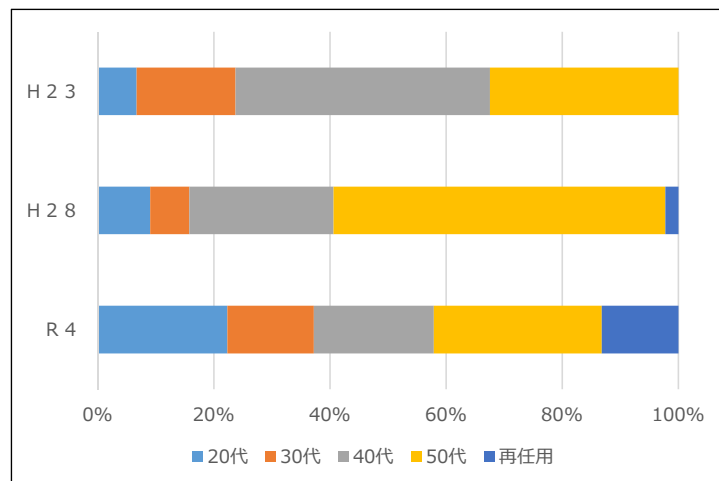
若手教員の育成、授業力向上

【小学校】



20代、30代の教諭が50%強

【中学校】



20代、30代の教諭が40%弱

7

本日の内容

(1) 研究主任のみなさまへのお願い

(2) 管内授業改善の重点

「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上

「学校マネジメント4つの観点」に基づく学校マネジメントの深化

- 観点Ⅰについて：学校の教育目標、重点目標等の設定・共有
 - ・ 前年度の達成状況や取組状況を踏まえた、より客観的な各種指標の設定
 - ・ 全教職員の参画、取組の徹底に向けた各種指標等の共通理解の工夫

- 観点Ⅱについて：短期及び年度を跨いだ検証・改善の実施
 - ・ 効果的な検証・改善に向けた達成状況の的確な見取りの工夫
 - ・ 取組状況や達成状況の確認に基づく「検証・改善フロー」に沿った各種指標等の見直し及び更新

※「検証・改善」フロー 第3ステージ冊子P41参照

- 観点Ⅲについて：主任等が効果的に機能する学校運営体制
 - ・ 学校規模に応じた主任等による取組の進捗管理及び提案等の推進
 - ・ 専門スタッフや関係機関等との日常的な情報共有

- 観点Ⅳについて：学校・家庭・地域による目標の協働達成
 - ・ 学校の教育目標等の共有や教職員の活用等による協働意識の向上
 - ・ 学校・家庭・地域の役割分担の明確化・適正化
 - ・ 「協育」ローディーターとの連携を生かした学校・家庭・地域の協働の推進

授業改善の徹底

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善
 - ・ 「育成を目指す資質・能力の柱」がバランスよく実現される単元構想に基づいた一時間のねらいが明確な授業づくり
 - ・ 一学校で設定する授業改善に係る取組について、校内でより具体的なイメージや取組内容を共有した上で進める検証・改善
 - ・ ICT等を効果的に活用した学級規模等に応じた授業づくり
- 「個別の指導計画」の作成・活用を通じた特別支援教育の視点からの組織的な授業改善
 - ・ 「個別の指導計画推進教員」等の活用
 - ・ 特別支援教育コーディネーターを活用した組織的取組の推進

体力向上の推進・健康課題への対応

- 運動の習慣化・日常化に向けた組織的取組
 - ・ 運動愛好度と体力・運動能力の両方の視点による検証・改善の推進
 - ・ 課題解決に向けた「1校1実践」等の充実及び組織的取組の推進
- 健康課題への対応
 - ・ 保護者と連携した規則正しい生活習慣、バランスのとれた食習慣の確立

いじめ・不登校対策等の推進

- 未然防止や解消に向けた組織的取組
 - ・ 専門スタッフ等を活用したいじめ・不登校等の未然防止や解消の取組、連携強化に向けた日常的な情報共有
 - ・ 「人間関係づくりプログラム」等を活用した居場所・絆を意識した集団づくり

子どもと向き合い効果的な教育活動を行うための働き方改革の推進

- 在校等時間の縮減に向けた組織的な働き方改革の推進
 - ・ 地域人材の活用と役割分担の見直し等の視点からの家庭・地域との協働
 - ・ 学校運営の効率化に向けたICTの効果的な活用、各種時間設定の見直し

(3) 管内授業改善の重点

目指す方向性

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善

- ◆ 「育成を目指す資質・能力の柱」がバランスよく実現される単元構想に基づいた一時間のねらいが明確な授業づくり
- ◆ ICT等を効果的に活用した学級規模等に応じた授業づくり

単元構想

1 単位時間の
ねらい

具体的な
評価規準

ICT活用

学級規模

資質・能力の育成

学びに向かう力、
人間性等

知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

【様式4】 「授業略案」			
年組	人【教科】	【指導者】	一斉、TTT、少人数 習熟度 () / ()
【単元名・題材名】 ()		【本時の位置付け】 () / () 時間	
単元の目標	単元や題材など、内容や時間のまとめ		
本時のねらい (本時の目標)	本時のねらい		
本時の評価	【評価規準】	ねらいに即した具体的な評価規準	
	【評価の観点】	【評価方法】	
【めあて】	期待する子どもの姿の実現に向かう 具体的な学習活動		
【課題】	授業の要素		
【まとめ】			
【振り返り】			

【評価規準例：小学校生活科（6）】
おもちゃを改良する方法について、
友だちのおもちゃと比べてたり、動きの原因を見付けたりしながら、
研究ファイルに書き込んでいる。

友だちのおもちゃと比べてたり、動きの原因を見付け追及したりする姿を期待



【授業設計】

- ☑友だちのおもちゃと比べる場面の設定
- ☑おもちゃの動きの問題状況を明らかにする場面
- ☑原因究明に向かう場面
- ☑比べて気付いたこと、原因究明と解決の方法を、
研究ファイルに書き込む場面



今日は何をすることになっていましたか？

どのように進めますか？

導入例

〇〇には何分くらいかかりそうですか？

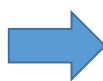
今日のめあては～でしたが、クラス（グループ）の達成度はどうですか？

次の時間では、何をしますか？

～について、振り返りを書きましょう

終末例

意識、継続



学びの自覚

各教科等の特質を踏まえたICT活用

StuDX Style



小学校・第2学年・生活科・「おいしく育てね わたしのやさい」①

活動のねらい

野菜を育てる活動を通して、育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって栽培することができ、それらは成長していることに気付くとともに、おいしい野菜を収穫しようとする。

野菜を栽培する

野菜の成長の様子を撮影する

クラウド上の静止画を見て、栽培活動を振り返る

野菜新聞を作成する

ICT端末活用のポイント

野菜を育てる活動を振り返る際に、ICT端末を活用して、育てている野菜の成長の様子などを振り返り、変化や成長の様子を時系列で捉えやすくとともに、自分の栽培活動を自覚できるようにする。

事例の概要

本事例は、児童が野菜の変化や成長の様子に気付くことができるように、野菜を栽培する中で発見したことや成長の様子を、静止画で記録し、保存・蓄積する。また単元の終末で、蓄積された野菜の静止画を時系列で並べることで、野菜の成長と自分との関わりを感じることができるようにするためのICT端末の活用である。

栽培活動においては、児童が発見したことや不思議に思ったことなどを、ICT端末のカメラ機能で記録し、クラウド上に保存して、児童一人一人がICT端末で見られるようにした。また、教師が児童の水やりや虫取りや追肥している様子を静止画で記録し、クラウド上に保存することで、野菜と児童との関わりについて考えられるようにした。

小学校・第2学年・生活科・「おいしく育てね わたしのやさい」②

～ICT端末を使って、野菜の成長を振り返る～

【ICT端末の写真撮影機能を使う】



【ICT端末の画面に書き込む】



【静止画を時系列で振り返る】



【ICT端末の活用のメリット】

野菜に水をあげたり観察したりする中で、葉の大きさや形の変化の様子や、葉が枯れたり、虫がついていたりするなどの心配な出来事を、短時間に何枚も繰り返し継続的に記録することができる。また、ICT端末の画面に言葉を書き込むことができる。

野菜の成長を振り返る際に、児童自身が記録した静止画を時系列で並べることで、変化や成長の様子に気付くことができる。また、それらの静止画をきっかけにして、土が乾いていたので水やりしたことや、実が付いたので追肥したことなどの自分との関わりについても気付くことができる。

【ICT端末の活用についての配慮事項】

野菜を見て書くことで、じつじつ見たり、葉などを触りながらトゲがあることを見付けたりできることから、ノートなどに書くことと併用するなど、指導のねらい・場面に応じてツールを選択することが大切である。生活科の特質として、実際に野菜を栽培する中で、その成長の様子を守ったり、関わったりしていくことが必要である。ICT端末の特質として、短時間で正確に成長を記録し、集積保存することで、成長や変化の様子を時系列で捉えやすくなる。

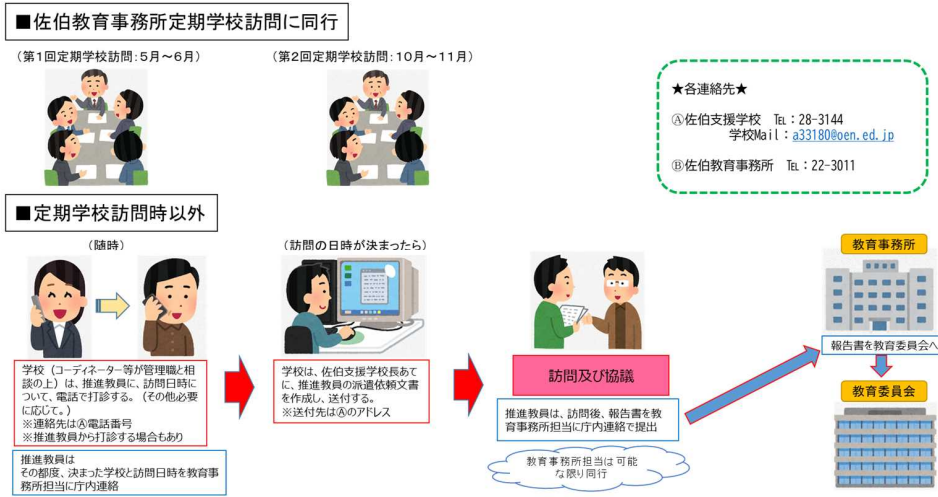
○ 活用したソフトや機能：写真撮影機能、学習支援ソフト（ファイル共有機能）

主な学習過程とICT活用のポイント、事例の概要

ICT活用のメリット、配慮事項、活用した機能

「個別の指導計画」の作成・活用を通じた特別支援教育の視点からの組織的な授業改善

- ◆「個別の指導計画推進教員」等の活用
- ◆特別支援教育コーディネーターを活用した組織的取組の推進



個に応じた指導の充実による資質・能力の育成

【協議】

学力向上プランをもとにした自校の具体的な取組

「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上

「学校マネジメント4つの観点」に基づく学校マネジメントの深化

□ 観点Ⅰについて：学校の教育目標、重点目標等の設定・共有

- ・ 前年度の達成状況や取組状況を踏まえた、より客観的な各種指標の設定
- ・ 全教職員の参画、取組の徹底に向けた各種指標等の共通理解の工夫

□ 観点Ⅲについて：主任等が効果的に機能する学校運営体制

- ・ 学校規模に応じた主任等による取組の進捗管理及び提案等の推進
- ・ 専門スタッフや関係機関等との日常的な情報共有

□ 観点Ⅱについて：短期及び年度を跨いだ検証・改善の実施

- ・ 効果的な検証・改善に向けた達成状況の的確な見取りの工夫
- ・ 取組状況や達成状況の確認に基づく「検証・改善フロー」に沿った各種指標等の見直し及び更新

※「検証・改善」フロー 第3ステージ冊子P41参照

□ 観点Ⅳについて：学校・家庭・地域による目標の協働達成

- ・ 学校の教育目標等の共有や教職シートの活用等による協働意識の向上
- ・ 学校・家庭・地域の役割分担の明確化・適正化
- ・ 「協育」ローディーターとの連携を生かした学校・家庭・地域の協働の推進

授業改善の徹底

□ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善

- ・ 「育成を目指す資質・能力の柱」がバランスよく実現される単元構想に基づいた一時間のねらいが明確な授業づくり
- ・ 一学校で設定する授業改善に係る取組について、校内でより具体的なイメージや取組内容を共有した上で進める検証・改善
- ・ ICT等を効果的に活用した学級規模等に応じた授業づくり

□ 「個別の指導計画」の作成・活用を通じた特別支援教育の視点からの組織的な授業改善

- ・ 「個別の指導計画推進教員」等の活用
- ・ 特別支援教育コーディネーターを活用した組織的取組の推進

体力向上の推進・健康課題への対応

□ 運動の習慣化・日常化に向けた組織的取組

- ・ 運動愛好度と体力・運動能力の両方の視点による検証・改善の推進
- ・ 課題解決に向けた「1校1実践」等の充実及び組織的取組の推進

□ 健康課題への対応

- ・ 保護者と連携した規則正しい生活習慣、バランスのとれた食習慣の確立

いじめ・不登校対策等の推進

□ 未然防止や解消に向けた組織的取組

- ・ 専門スタッフ等を活用したいじめ・不登校等の未然防止や解消の取組、連携強化に向けた日常的な情報共有
- ・ 「人間関係づくりプログラム」等を活用した居場所・絆を意識した集団づくり

子どもと向き合い効果的な教育活動を行うための働き方改革の推進

□ 在校等時間の縮減に向けた組織的な働き方改革の推進

- ・ 地域人材の活用と役割分担の見直し等の視点からの家庭・地域との協働
- ・ 学校運営の効率化に向けたICTの効果的な活用、各種時間設定の見直し

【協議】学力向上プランをもとにした自校の具体的な取組

第1回 (R4.5.9)

主任の役割

組織的な授業改善を進める→どのようにして

若手教員の育成（授業力向上）→どのようにして

項目	各校の取組	今後に生かすアイデア
組織的な授業改善		① ② ③
若手教員の育成 (授業力向上)		① ② ③

見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫する

19

第1回地域授業改善協議会アンケート

R4.5.9開催の協議会アンケートです。5月11日までの入力をお願いします。

gotou-ryuuta@oen.ed.jp (共有なし) アカウントを切り替える

*必須

学校名をご記入ください*

回答を入力

お名前をご記入ください*

回答を入力

本日の協議会は、今後の授業改善の参考になりましたか*

1 2 3 4

参考にならなかった とても参考になった

本日の協議会で、特に印象に残ったことや学んだことをお聞かせください。*

回答を入力

その他(今後自校で取り組みたいこと、本日の講義・行政説明でのご質問があればご記入ください。) ※自由記述

回答を入力

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

送信 フォームをクリア

第2回地域授業改善協議会

- 期日 令和4年7月29日(金)
9:00~12:00
- 会場 佐伯総合庁舎4階大会議室
- 内容
 - 説明
「1人1台端末を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善」
 - 発表
「小学校国語科における1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学び」(仮)
 - 協議
「自校における今後の取組」